小学校　高学年　国語　「物語文の読み取り①」

（　　）年（　　）組（　　）番　名前（　　）

☆　次の文章を読んで、答えましょう。

ずんずんろうかを進んで行きますと、今度は水色のペンキぬりの戸がありました。

「どうも変なうちだ。どうしてこんなにたくさん戸があるのだろう。」

「これはロシア式だ。寒いとこや山の中はみんなこうさ。」

そして二人はその戸を開けようとしますと、上に黄色な字でこう書いてありました。

㋐【当軒（とうけん）は注文の多い料理店ですから、どうか①そこはご承知ください。】

「なかなかはやってるんだ。こんな山の中で。」

「それあそうだ。見たまえ、東京の大きな料理屋だって大通りには少ないだろう。」

二人は言いながら、その戸を開けました。すると、そのうら側に、

【注文はずいぶん多いでしょうが、どうかいちいちこらえてください。】

「これはぜんたいどういうんだ。」

一人のしんしは顔をしかめました。

※「注文の多い料理店」　宮沢　賢治

（一）ろうかを進んでいくと、何がありましたか。八文字を書きぬきましょう。

						8	の戸

（二）二人は、たくさん戸がついているのはなぜだと思っていますか。四文字を書きぬきましょう。

4

の建物だから

（三）①が指していることを、五文字で書きぬきましょう。

5

こと

宮沢賢治（みやざわけんじ）の作品を読んでみよう。

「銀河鉄道の夜」や「雪わたり」などがあるよ！

（四）㋐を見て、二人はどう思いましたか。二十字程度で書きましょう。

20		